



－立憲民主党躍進－

第50回衆議院議員総選挙は27日(日)投開票され、立憲民主党は148議席(うち小選挙区104、比例代表44)で前回から52議席の大幅増となりました。対して、自民党は190議席(うち小選挙区132、比例代表58)で前回よりも57議席の大幅減となり、与党での過半数割れとなりました。また、交運労協の「政策推進議員懇談会」に加入する14名の候補者も全員当選となりました。

今後、全自交としては推薦や選挙協力をした議員に働き掛け「タクシー政策議員連盟」に加入するよう要請していきます。「タクシー議員連盟」を大きくすることによって私たちの声を国会に届けてもらい、「ライドシェア問題」に終止符を打たなくてはなりません。自民党勢力が弱体化したとはいえ依然、大きな勢力には間違いありません。ライドシェア推進派の菅、小泉、河野等大物議員は当選しております。今後の組閣にもよりますが、気を緩めることなく注視し反対運動を継続していかなくてはなりません。

また、今回の選挙での勝利は全国各地で全自交のみなさんがご尽力をされた結果です。候補者からは続々と御礼の電話がはいております。今回のこの勢いを来年行われる参議院議員選挙につなげて、ライドシェア阻止に多大なるご協力を頂いている「森屋たかし参議院議員」そして自治労組織内議員の「岸まきこ参議院議員」の連続当選に向け引き続き運動をしていきましょう。

みなさん、ご協力ありがとうございました。